

冬号

# おおた文化の森

「森で、  
貯えよう」

## 特集

### 文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

文化プレーヤー事業部の活動について  
 文化の森の主役は「文化プレーヤー(文化ボランティア)」です! 大田文化の森運営協議会が主催する多彩な催しを文化プレーヤーは企画・立案し、実施にあたってはその催しが成功するようにあらゆる方面から支える活動をします。  
 「文化プレーヤー事業部」は上記のような文化プレーヤーの活動を更に円滑に行えるように、また実行委員会に所属しない文化プレーヤーの特性に合った活動をコーディネートするために本年度より立ち上げました。現時点の「文化プレーヤー事業部」は以下の4チームを編成し事業にあたっています。



文化プレーヤーによる手品も登場(photo by K.Matsuura)

1. 総務チーム
    - a) サポート対応事業(イベントサポートや事務作業サポート)
    - b) ボランティアコーディネーター事業  
プレーヤー登録はしたが、どのように関わっていったらよいか分からない方の相談窓口
    - c) 「文化プレーヤーの集い」、「研修交流会」等の交流会、研修会、懇親会や文化プレーヤー対象の講座の企画運営事業
    - d) 文化プレーヤーカード(IDカード)の発行
  2. 広報チーム 文化プレーヤー通信の発行
  3. 記録チーム ビデオや写真撮影による取材、映像
  4. ITチーム ホームページや広報のWeb化を推進
- 今後より良い文化プレーヤー活動となるように、新たなチーム編成等を含め積極的に支援します。

今年度の主な事業紹介

### 読み応えのあるコラムが自慢

#### 元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

#### 文化プレーヤーレポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

運営協議会委員の志

#### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。

#### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。

#### 大田の顔 キラリ

今回は地場劇団代表の江角友子さんを紹介합니다。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。

#### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」を紹介します。

#### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。



鎌倉長谷寺にて)

平成19年度「第1回文化プレーヤーの集い」を6月9日(土)多目的室で開催いたしました。「運営協議会についての歩み、現在の組織について、新任委員の紹介」を運営協議会委員が説明し、その後「文化プレーヤーの経験談とそれに対するの質疑応答」、休憩を挟んで「懇親会」を行いました。7つのテーブルごとにグループに分かれて「文化の森で何をやりたいか」をテーマに自己紹介とともに、活発に意見交換が行われました。

10月9日(火)は、鎌倉生涯学習推進委員会と大田文化の森・運営協議会との「鎌倉交流研修会」が鎌倉学習センター

で実施されました。研修交流会、史跡見学、鎌倉散策など実り多く、交流研修とともに、プレーヤー同志の親睦の意味でも有意義なものとなりました。

12月1日(土)は「第2回文化プレーヤーの集い」を行いました。前回の「運営協議会について知り、活動目的を語る」から半年を経て、今回は「文化プレーヤー交歓の場」としました。プレーヤーさんによる手品、踊り、手話ダンスや作品展示による自己表現で大いに盛り上がりました！

文化プレーヤー事業部は文化プレーヤー活動が常に楽しいものであり、活動目的や意義を満たすものになりますように積極的に支援します!!

運営委員 奥田 和子

## 第7回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 我に一芸あり

東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

### 文化の森イベントスケジュール

#### イベント情報 文化の森 旬でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 編集後記

## 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版  
2008年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail: [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 冬号 おおた文化の森



## 特集

文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

## 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

## 運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。



今回は地場劇団代表の江角友子さんを紹介します。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」を紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。



# 元気印 文化プレーヤー

友人に勧められて文化プレーヤーの登録はしましたが、はじめは情報誌の発送や、収穫祭の販売などの単発のお手伝いをしていただけでした。それで、何かしら自分がお手伝いできることがありそうな、「異文化交流実行委員会」に参加してみましたところ、委員長の力強いリーダーシップに引かれて、仲間に加えていただきました。



「外国人との共生をを考える」講座の司会をつとめて

というのも、子育てが一段落した時に「何かしよう」と始めた、大田区内の日本語教室でのボランティアを通して、たくさんの外国人に出会い、その文化、生活、宗教、家族に対する思いなどに直接して、私が彼らに教えたより遥かに貴重なことを学び、目が開かれた思いをしたからです。日本に来て、難しい事情や矛盾を抱えている人とも、同じ人間同士として楽しい時間を共有することができたこともあり、(この経験が)私の世界観に変化をもたらしました。

10年ほどで教えることは辞めましたが、文化の森に来て、異文化交流実行委員会に参加するうちに、あの楽しさをもっとたくさんの人に味わってもらいたい、という気持ちがふくらんできました。全く知らないこと、考えもしなかったこと、日本とまるで反対だったりする価値観などを知ることは、固くなりかけた(?)頭には、よい刺激になります。

大田区内には、たくさんの外国人が住んでいます。国と国とはバラバラでも、一人ひとりはお互いによく知り合うことにより、少しずつ理解しあえると思います。双方の歴史や文化、国民性を尊重しあいながら受け入れ、個人のレベルでのんびりゆっくり交流していくうちに、和の輪が広がって「地球はひとつ」に近づきたいものです。

## 「文化プレーヤー通信」について(毎月1日発行)

登録されている文化プレーヤー(ボランティア)の方々に向けて、企画の活動紹介や情報を共有するために発行している通信です。文化プレーヤー自身で企画・編集しています。

入手方法は、文化プレーヤー登録していただくか、文化の森1階の情報ラックでも配布しています。

文化プレーヤー 野溝 淳子



## ガーデニングクラブ

私と「文化の森」との出会いは、4年前「異文化交流実行委員会」から、インドネシアの企画依頼があったからです。インドネシアの伝統文化を紹介し、日・伊の交流する意義を考えるよい機会を与えてくださったと思い、お引き受けしたのがきっかけでした。



活動していく中で、「ガーデニングクラブ」の存在を知り、会員の一人となったのです。ガーデニングクラブは平成15年の収穫祭から、収穫祭実行委員のメンバーが中心となり立ち上げ、現在、文化の森集会所とホールの周りにある22鉢のプランターを管理したり、ガーデニングの講習会を開催したりしています。花がら摘み、真夏の時期は朝夕の水やり、また春先にはプランターの土の入れ替えや、花の植え込み等の作業を、会員の方々8人と一緒に楽しんでいます。

文化の森に足を運ばれた人たちに、いつでも美しい花があることで、心が和み、幸せを感じてくれることを願いながら手入れをしております。時々「ご苦労様です」と見ず知らずの人から声をかけていただき、喜びを実感しております。

また、年に3回「ガーデニング講習会」を実行委員会にて検討して実施しておりますが、毎回好評でこの講習会はガーデニングクラブの同士の触れ合いの場でもあるのです。

ボランティア活動をしておりまして、多くの人とのかかわりの中で、目標を決めお互いに支え合いながら理解を深めることで、知識も豊富になり、達成した時の喜びを分かち合うことができることは、とても素晴らしいことです。

「文化の森」からエネルギーをいただき、楽しくイキイキと過ごせる幸せは、実にありがたく、ボランティアの道を与えてくださったことに感謝いたしております。

文化プレーヤー 白井 芳子



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 我に一芸あり

東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

### 文化の森イベントスケジュール

#### イベント情報 文化の森側でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 編集後記

## 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# おおた文化の森

## 文化プレーヤー レポート

### 文化の収穫祭報告

ホール部門～進行を担当して  
 今年の収穫祭では、ホール部門で進行を担当させて頂きました。  
 舞台袖にいと、表舞台では見ることのできない出演者たちの素顔を見ることが出来ます。出演者の工夫、努力、苦労、そういったものを間近に見て、その上で舞台上の演技が成り立っていることを、つくづく実感しました。  
 収穫祭は文化の森の一年間の集大成です。企画者、発表者、スタッフ、お客様、皆が協力しあって、今後ますます素晴らしい文化が発信されることを願っております。



文化プレーヤー 景山 弓張

模擬店会場～お祭気分を味わいながらチョコバナナ、いそべ焼きはいかがですか～、明るく元気な声が飛び交う3階の模擬店会場。収穫祭のお楽しみの一つ、手作りお菓자에焼きそば、などなど・・・何しろ安くて美味しい!! 山菜に栗入りのおこわ200円、和牛たっぷりの牛めし300円。本場インド・ネパール料理も定番メニューになり、ファンも多い。  
 今年は山梨から採りたて無農薬野菜が届いた。開店前から続々と人が集まり、朝から景気が良い。今年は運営協議会からも出店、3・4・5階に売店が出て皆様に喜んでいただけました。  
 収穫祭2日目の模擬店参加者はほぼ完売を果たし、人も自分も楽しみながら世代の交流もでき、一日楽しいお祭気分を存分に味わった。



文化プレーヤー 矢野 マサ子

広場～祭だワッショイ  
 トップバッターは、鶴の木の東京高校チアリーディング部 (JUICES) 30名の参加の演技。JUICESは17年の歴史を誇り、「新鮮で100%の果実のようなフレッシュな笑顔で」・・・との意味とか。名前の由来どおり、朝一番にふさわしい、寒さも吹き飛ばす演技であった。次に、大和舞踊会による八町会のメンバーが、色々な曲を踊った。その中でも、海苔が盛んに栽培されていた時代に、海で働く時に口ずさまれていた「大森甚句」が大森の民謡として継がれて



#### 特集

文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

読み応えのあるコラムが自慢

### 元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

### 文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。

### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。

### 大田の顔 キラリ

今回は地場劇団代表の江角友子さんをご紹介します。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。

### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」をご紹介します。

### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。

いくよう披露された。山王ハーモニカの皆さんの、唱歌から最近の曲まで誰もが知っている曲の演奏が続いた。演奏のあとは緑洲会(虹の会)が「蒲田行進曲」に合わせて踊った。最後に池上自主防犯パトロールジュニアメンバーと池上第二小学校有志による、子どもたちの元気なダンスで盛り上がった。

文化プレーヤー 平林 寛

スタンプラリー～ゴールは笑顔が一杯  
スタンプラリーは5階から1階へ、ボーリング→輪投げ→剣玉→カーリングに挑戦し、スタンプが4個になったら景品を受け取ることができます。スタッフは各階2名ずつ、午前・午後に分かれて順調に終わることができ、ひと安心しました。参加人数は259名でした。スタンプが一杯になった子どもに景品を渡す場面では、私たちの小さい頃と違い、迷いに迷う子どもが多く見られたことが意外でしたが、何よりも子どもの喜ぶ顔を見ることが出来たことで疲れもふきとぶ思いでした。



文化プレーヤー 金沢 マサ子

## 鎌倉交流研修会報告

刺激を活動に生かしたい



バスは最初の目的地、長谷寺に到着した。小雨に煙る境内は鎌倉チャリティガイド協会ガイドのお陰と、同好の仲間同士と言うことで、今までと違う長谷寺を体験できた。昼食後、鎌倉駅前の「鎌倉生涯学習センターホール」にて交流研修会が開かれた。双方の挨拶、活動・組織・目的などの説明、文化プレーヤーの活動状況、鎌倉からは講座等の事例説明、質疑応答など、有意義、刺激的な2時間となりました。私の一番の驚きは、鎌倉では企画した講座が終わると自主グループとして活動、現在200以上のグループがあるとのことでした。

生涯学習、文化イベント、目標はほぼ同じながら、方法・考え方に大きな差異が見られ、事前予習があればもっと積極的な話し合いがもてたのではないかと思われました。皆で打ち解け、楽しみながら大きな刺激を受け、文化の森の活動に生かす、これこそ今日の会の目標では、と思いと嬉しくなりました。今後とも、他団体との交流を持つことにより、皆で力を合わせて、一歩ずつ前進していきましょう！

文化プレーヤー 三輪 重雄

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 我に一芸あり

東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 側でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



# おおた文化の森

## 運営協議会委員の志

# 「私の」文化の森

古屋 伸樹

私は、一昨年まで「文化の森」の活動内容はもとよりその存在すら知りませんでした。その後、数人の知人からここでの活動の話を書く機会があり、はじめて「文化の森」の存在を知りました。そして、区民が自ら企画し実施しているということに大変興味をもち、ぜひ現場で体験し、それも個々の活動だけでなく、全体をどのように進めているのかなどを見たい。そして、できればそのお手伝いをしたいと第3期の運営協議会委員に応募した次第です。そして、「文化の森」に通うようになり、間もなく九カ月が過ぎようとしています。その間、この「森」のパワーというか情熱を途切れることなく感じてきました。それはまさしく、ここで活動している、参加している、手伝っている方々のハートとエネルギーからくるものです。私は最初に、このような素晴らしい場所と活動があることを多くの区民に知らせたい。私自身が一昨年まで知らなかったこともあるが、今以上に「森」をアピールする必要があると痛感しています。少なくとも私の住んでいる大田区の北側では「森」の存在はあまり知られていません。そして、文化活動の場として、思い思いの形で参加していただきたい。そのためには、今日までの成果や総意を引き継ぎ、より身近で利用しやすい存在にする為の工夫や改良を重ねていくことだと思います。さらに「森」の新参者が恐れずに言わせていただくと、「森」での活動に関わる個々人の善意に頼り過ぎず、それらを受け止めるシステムの見直しも今後の課題のひとつだと思います。私にとっては、仕事関係では接点の無かった世代や立場の方々との交流することにより、これまでとは違った視点で世の中を見ることが出来て大変な収穫です。そして、この「森」のパワーと情熱の中に身をおく、新鮮な緊張と感動は癖になりそうです。みなさんに感謝！

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。



## 第一回まちづくりフェスタ ~たたえあう世代をつなぐまちづくり~

### 特集

文化プレーヤー活動を積極的に支援します！

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

### 運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。



今回は地場劇団代表の江角友子さんをご紹介します。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」をご紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。



平成20年1月27日(日)に開催される第「1回まちづくりフェスタ」は、環境・健康・食をテーマにした講演・ワークショップと日頃地域でまちづくり活動を実践している個人・団体の方々に集まっていたいただき、その活動を外部にPRし、またお互いにアピールしてたえあい、交流を深め、地域のネットワークづくりをし、日頃の活動を更に推進していただくというイベントです。昨年4月から実行委員会を立ち上げ、実行委員全員が一丸となって取り組んでいます。



1階の展示コーナーでは、パネル展示と活動紹介、5階の多目的室では、パネル展示、体験、販売もあり、実行委員の積極的なPRの成果もあって、60余りの個人、団体が参加する予定です。

また、3階、4階では午前午後各会場で、フレスコ画、ハーブ石鹸づくり、健康についての講座、ユニバーサルフィットネス、健康体操などが開催され、来館されたお客様には十分楽しんでいただけたと思います。午後3時～午後5時までは、多目的室で参加個人・団体、当日来館された皆さんと共に楽しいひと時を過ごすことができるように、まちづくりのスペシャリスト愛知産業大学大学院教授延藤安弘先生の基調講演や、交流会も準備しています。皆様のご来館を実行委員一同お待ちしております。当日10時～17時、文化の森集会棟1階～5階(2階を除く)のすべての会場です。

文化プレーヤー 北岡 三子

#### 1月～3月 運営協議会【会議】スケジュール

※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

##### ■文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00(第2集会室)

1月18日、2月1日・15日、3月7日・21日

\*文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

##### ■役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:30(講師控室)

1月15日・29日・12日、3月4日・18日

##### ■将来構想部会(毎月第1月曜日)19:00～21:00(第2集会室)

2月4日、3月3日

##### ■実行委員会

###### ●芸術事業実行委員会(第2金曜日19:00～21:00)

1月11日、2月8日、3月14日

###### ●誰でも楽しめる実行委員会(第1火曜日19:00～21:00)

1月8日、2月5日、3月4日

###### ●子ども・若者たちの実行委員会(第2金曜日13:30～15:30)

1月11日、2月8日、3月14日

###### ●まちづくり実行委員会(第1木曜日10:00～12:00)

1月10日、2月7日、3月6日

###### ●異文化交流実行委員会(第3木曜日18:30～20:30)

1月17日、2月21日、3月27日

###### ●サロン交流会実行委員会(火曜日19:00～21:00)

1月8日

###### ●文化の森フォーラム実行委員会(第3水曜日19:00～21:00)

1月22日、2月19日、3月18日

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 我に一芸あり

東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

### 文化の森イベントスケジュール

#### イベント情報 文化の森側でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 編集後記

## 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。





# おおた文化の森

## 大田の顔 キラリ

### 区民とつくる地場演劇の会代表 江角友子さんにお会いして



江角友子さん

晩秋のある日、地域演劇の活動をされている江角友子さんにお話を伺いました。

この会はプロとアマが一体となった演劇集団として、前代表の故江角英明さん(俳優)が大田区民に呼びかけて、1989年に設立されたものです。以来毎年一回のペースでこれまで17回の公演を行ってきました。いずれも大田区の歴史や伝承を題材に、地域に密着した芝居作りを求めて努力を重ね、3年前から江角友子さんが、夫の英明さんの遺志を継いで、代表として携わるようになりました。小沢昭一氏等が主宰していた劇団で約5年間過ごした経験を生かして、ご主人とともに地場演劇の活動を支えてこられたベテランです。

会の方針は、風通しの良い人間関係のもとで互いに認めあい、協力しあう演劇創造であり、アマチュアの特性を考慮して、練習は会員皆が参加できるよう工夫されています。公演の他にワークショップや小さな会場での上演も、参加者や観客がともに楽しむ、実りのある体験ということでした。

文化の森での18回目の公演「山わろ～呑川へきたかっぱのこと」は、英明さんの10年前の作品を今回友子さんが脚本構成したもので、地球の温暖化などのテーマが織り込まれ、河童と人間のふれ合いを通して私たちに語りかける、美しく、哀しく、笑いもある舞台でした。タイトルの「山わろ」とは、冬を山で過ごす河童の別名で、多摩川の奥の岩穴で、河童が母親と交わした約束を果たすために川を下り、人間の力を借りて目的のものを手に入れるが、川の汚れに苦しみながら故郷をめざす・・・という物語です。「八起座」の太原健代表らの参加を含め、総勢16名の出演者が半年かけて練習した成果は、全員が一丸となった素晴らしい公演となりました。



公演「山わろ～呑側へきたかっぱのこと」

“演劇には人と人の関わりを豊かにする魅力がある”と語る江角さん、「区民とつくる地場演

#### 特集

文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

読み応えのあるコラムが自慢

### 元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

### 文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。

### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。

### 大田の顔 キラリ

今回は地場劇団代表の江角友子さんを紹介します。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。

### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」を紹介します。

### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。

劇の会」を東京のような大都会（大田区）で継続することは、たいへんご苦労があると思われるかもしれませんが、ますますのご活躍を期待いたします。大田文化の森運営協議会も、この地場演劇の会を暖かく見守ってゆきたいと思ひます。

運営委員 青柳 博之

# 我に一芸あり

東京実業高等学校は、独学で数学を学び、明治初期の三大数学者の1人となった上野清先生が1922年に神田西小川町に商業高校として創立、1936年に現在地、大田区西蒲田に移転した。85年の歴史と伝統ある学園で、「親和誠実」、「不撓不屈」を校訓とし、文武両道にわたって創立者上野清先生の精神が脈々と受け継がれ、生徒一人ひとりの固有の能力を尊重し、自立できる人間の育成を行っている。在校生1,221人(内、女生徒240人)、2001年から男女共学となった。

クラブ活動が活発で、その中でも特筆すべきはマーチングバンド部である。全国大会出場22回、18回の金賞を受賞。また、小編成（隊員54名以下）の部では3回の優勝に輝いている。

1989年には全国の高校の頂点に立つグランプリを受賞。世界大会にも4回出場しており、1992年にはマーチングバンドの本場アメリカのダラスで行われた世界大会では5位に入賞するという快挙。海外にも8回遠征し、外務省の依頼でアメリカ合衆国ホワイトハウス前で演奏したり、フランスのシャンゼリゼ通りでのパレード、ホノルルフェスティバルパレードにも出場、文化の親善使節として大活躍している。大きな舞台だけでなく、数多くの地域のイベントなどでも演奏、演技を披露している。

マーチングバンド部の正式名称は、フェニックスレジメント・ドラム&ビューグル・コーといい、1977年創部、前身の吹奏楽部が当時の優秀な指導者を得てマーチングバンド部となった。年々実力が向上し、創部4年目で全国大会に出場し、銀賞を受賞。9年目の1985年からは11年連続金賞を受賞している。現在部員は49名(内、女生徒29名)。マーチングバンドは金管楽器、パーカッション、カラーガード(旗)から編成され、大会では30



m×30mのフロアを8分以内で様々な隊形変化をしながら演奏し、カラーガードの演技などの視覚効果、音楽効果、管楽器・打楽器の技術、動きの技術などの観点から審査され、演奏と演技を競い合う。かなりハードな「音楽のスポーツ」と言える。

練習は毎日午後3時30分～7時ごろまで続き、大会前には夜9時、10時にもなるハードさで正に体力勝負といっても過言ではない。

重いもので20kgもある楽器を持つての演奏演技なので、練習中に足腰を痛めることが多い。そのため、顧問は部員の健康管理に特に注意し、基礎体力向上を常に念頭に入れ指導しているそうである。

2007年度は小編成の部で、関東大会1位となり、全国大会に出場、猛特訓の甲斐あって見事に最優秀賞に輝いた。

顧問の先生方の優れた指導力と、それに応える生徒の不断の努力と意欲や情熱があればこれからも輝かしい伝統を積み重ねていくことであろう。世界の頂点に立つのも夢ではない。

運営委員 宗 正雄

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 我に一芸あり

東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

### 文化の森イベントスケジュール

#### イベント情報 文化の森側でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 編集後記

#### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# おおた文化の森



ここに花あり

おおた  
花百景

巨大なガーデンや立派な花畑でなくてもよい。街を往くとき、ふっと思いが浮かんだり、はっと気がつくスポットが沢山あるはず。そこに花があれば楽しめばよい。なければ植える方法がないか考え実行できるかもしれない。こんなスポットが百景もできれば、街が華やぎ、人々が甦る。一昔前、群馬の市民楽団が草の根から成長して「ここに泉あり」と評されたことがあった。

このシリーズは、区民の皆様の推薦スポット。ご連絡を歓迎します。(編集部)

## シクラメンの里、馬込にやさしさとやすらぎがある

東洋の島国の一角、馬込の里に多彩な色と香りのシクラメンの存在感が年々広がっている。糸を手繰って行くと、あの東地中海沿岸のこれまた一角、たとえばシクラメンを国花とするギリシャにたどり着くのである。原生シクラメンの故郷である。馬込も東地中海も、広大な平坦な風土ではなく、変化に富んだ丘陵と穏やかな気候に恵まれた一帯であることに気づく。ただし、現在馬込で普及し多くの愛好家の寵愛をうけているシクラメンはフランス、ドイツ、など欧州諸国で圧倒的に浸透し普及している改良種である。この改良種がさらに慈しみ磨き上げられたのが馬込のシクラメンなのであり、広く殆ど全国津々浦々まで広がっている。

### 特集

文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

読み応えのあるコラムが自慢

### 元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

### 文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。

### 実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。

### 大田の顔 キラリ

今回は地場劇団代表の江角友子さんをご紹介します。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。

### 文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」をご紹介します。

### ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。

菊や桜は古来日本人に親しまれ愛されてきた。シクラメンは、明治中ごろからごく一部好事家の間で密かに愛でられ始めているが、一般に普及し始めたのは、むしろ戦後昭和30～35年ごろからであろうか。「シクラメンのかほり」、若き日の布施明の甘い絶唱が一世を風靡したのは、昭和50年であった。「馬込シクラメン園」の波田野さんが、世田谷の都立園芸学校の温室で、戦後間もないころ、秘めやかに咲いているシクラメンに運命的に邂逅され、魅せられてのめり込み始められてから今年で53年である。シクラメンが個人的に秘蔵され愛玩されることと、広く世間に普及され、開放されることはおのずから次元が異なってくる。経営的な支えが必要だ。波田野さんの立派さは、シクラメンを馬込の一隅から東京はもとより全国的な普及への貢献にあらう。



「馬込シクラメン園」を見学させていただき、目を見張った。三十数品種、一万鉢のシクラメンが所狭しと、数棟の温室に、肅然としかし華やかに育っているのである。農水省や東京都などがこれを讃えて、数え切れない賞を贈っている。同園は、応えるに、ホームページで「花はやさしさ、花はやすらぎ・・・」と呼びかけている。手塩にかけ丹精をこめたシクラメンをいつくしみ世に呈しておられる方がさりげなく言えることばであろう。鉢物の花にしては、育つまでが異常に長く1年3ヶ月を要する。シクラメンに高温多湿の馬込が必ずしも最適風土とはいえない。だから、真夏から秋にかけて一鉢のこらず冷涼地(茨城県協和町)での「避暑」が必要である。

やさしさとやすらぎの使者、シクラメンは晩秋から年末にかけてもっとも多く、日本全国の家々、人々の下に参上する。対面した人々は、あのソロモン王が可憐な美しさを称えたとき、恥ずかしげに頭(こうべ)を垂れたと語り伝えられる、この花の床しさと情熱を感じるのである。

「シクラメンゆかりの里」記念碑が中馬込、宮の下児童公園の脇にある。

[地図はこちら](#)

運営委員 福野 幸雄

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

## 我に一芸あり

東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

### 文化の森イベントスケジュール

#### イベント情報 文化の森側でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

#### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 編集後記

## 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話：03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704  
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。  
■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版  
2008年1月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 福野幸雄  
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1  
電話 03-3772-0770  
FAX03-3772-0704  
E-mail: [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)  
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 第7回 フォレストメーツ チクリ一筆

## 裏方の楽しみ

三代目の委員さんに期待！  
文化の森は、どこですか？運営協議会は、どんな活動をしている？開館当時、何度も質問されたことを懐かしく思い出します。  
開設6年が経過し「大田文化の森」の名は全区民的に認知された？  
そして運営協議会。区民で構成された運営委員が、この施設の事業を担う新たな試み。  
初仕事の「大田文化の森」の名称決定からスタートした区民本位の事業運営は委員皆さんの努力と熱意により、多くの区民の参加と共に毎年たくさんの収穫物が得られた。

今期の委員さんは三期目。三代目は組織の発展の鍵を握ると言われます。多様な文化のノウハウを持つ潜在区民の発掘など区民相互の和(輪)を広げ、区民文化の創造を培う司令塔としての活動を期待します。

龍子記念館館長 小林 一太



# おおた文化の森

## 文化の森 イベント情報 何でもあり

寒さが身にしみる季節ですが、文化の森ではホットなイベントが目白押しです。参加お待ちしています。

### 最新イベント情報

#### ■大田文化の森落語会季節寄席〈春〉

チケットの発売日が変更になりました。

□チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて2月17日(日)10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

#### ■文化の森サロン交流会

文化の森を支える人たちのふれあいの場、懇談の場として、交流会を開催。今回のミニイベントはパントマイムと文化箏のミニコンサート。軽食付き

□開催日時:1月19日(土)13:30~15:30

□会場:5階多目的室 □参加費:500円(当日直接会場へ)

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

#### ■「心の詩(うた)」展 芸術作品大募集!!

この展は、同時開催の「サトウハチローの世界」の関連企画として行なわれ、文化の森1階の展示コーナーにて『母』をテーマにした芸術作品を展示して下さる方を募集しています。

写真、書、彫刻、俳句、詩、デザイン、工芸などジャンルは問いません。テーマが『母』以外のもの応募可。

□開催:平成20年2月16日(土)13時~19時、17日(日)10時~17時半

□出展料:無料 □応募締切:1月11日(金)

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

#### ■おわび

11月20日発売予定の0歳からの親子でコンサートは都合により翌日11月21日(水)10:00からと変更となりました。より多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

### 楽しいイベントが一杯! ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

#### ■文化の森サロン交流会

文化の森を支える人たちのふれあいの場、懇談の場として、交流会を開催。今回のミニイベントはパントマイムと文化箏のミニコンサート。軽食付き

□開催日時:1月19日(土)13:30~15:30 □会場:5階多目的室 □参加費:500円(当日直接会場へ)

#### ■まちづくりフェスタ

「世代をつなぐ幸せづくり」をコンセプトとし、「食・健康・環境」文化をテーマに講演・ワークショップやまちづくり活動を実践している個人・団体の活動紹介

□開催日時:1月27日(日)10:00~17:00 □会場:多目的室、集会室など □当日直接会場へ

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

#### ■フィリピンの生活と文化に触れる講演と民族舞踊

大田区在住のフィリピンの方々に参加を募り大使館の後援を得て、フィリピンの文化との交流を図る

□開催日時:2月11日(月・祝)13:30~16:00 □会場:5階多目的室 □チケット:1,000円(小中学生500円)、大田文化の森にて発売中(未就学児可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

#### ■和太鼓ふれあいコンサート ~夢と希望そして未来へ

### 特集

## 文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

### 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

### 運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。



今回は地場劇団代表の江角友子さんをご紹介します。人と人の関わりを豊かにする魅力とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」をご紹介します。

## ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。



□開催日時:2月23日(土)13:30～ □会場:大田文化の森ホール □チケット:1000円、大田文化の森にて発売中(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■手話ドリーム公演

ろう者と健聴者がともに集いあい、自作ビデオや手話寸劇を上演

□開催日時:2月24日(日)15:30～ □会場:大田文化の森ホール □参加無料□当日直接会場へ

### ■大田文化の森落語会季節寄席(春)

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、春風亭柳朝(朝之助改め真打昇進)他。演目は未定

□開催日時:3月15日(土)15:00～18:00 □会場:大田文化の森ホール □チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて2月17日(日)10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■子育て中の皆様応援! 弦楽四重奏コンサート(無料保育付)

□開催日時:4月6日(日)14:00～15:00 □会場:大田文化の森ホール

□定員:250名/無料保育抽選で30名(4歳未満)□参加費:500円(中学生以上、4歳から小学生は無料) □申込:3月9日必着(保育希望の有無・参加希望者全員全員の氏名・年齢を明記)

### ■荳村清志 ～魅惑のクラシックギターコンサート

□開催日時:4月12日(土)13:30～15:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:2,000円(全席指定)、大田文化の森、アプリコ、区民プラザにて2月11日10:00から発売(未就学児不可)

### 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

## 体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

### ■和の動きで楽しくできる健康舞踊体操

ゆっくり静かな動きで転ばぬ身体づくりをはじめてみませんか!! 若さと元気を取り戻し、踊る楽しさを体験

□開催日時:1月21日、2月4・18日、3月3・10日(各月)13:30～15:30

□会場:3階和室 □定員:抽選で20名 □参加費:1,500円 □申込:1月12日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■せっけん作りを体験してみませんか!

ハープを使った、楽しいせっけん作りのワークショップです

□開催日時:1月27日(日)?@10:30～12:00/?A13:00～15:00 □会場:3階工芸室 □定員:抽選で各20名(小学生以上) □参加費:500円□申込:1月15日必着(時間は?@Aを明記)

### ■フレスコ画を描いてみませんか!

親子や友だち同士でフレスコ画を体験しましょう

□開催日時:1月27日(日)13:30～16:00 □会場:3階美術室 □定員:抽選で20名(小学3年生以上) □参加費:500円□申込:1月15日必着

### ■わくわく科学の森～びりりん・静電気実験

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。わかりやすい実験で子どもたちの科学への興味を引き出す

□開催日時:2月23日(土)9:30～11:30 □会場:3階美術室 □定員:抽選で親子15組

□参加費:100円 □申込:2月15日必着

### ■一から始めるパソコン教室

パソコンが、初めての人の向け講座

□開催日時:2月27日、3月5・12・19・26日(各水)19:30～21:30 □会場:2階マルチメディアコーナー □参加費:5,000円(テキスト代別途)□定員:抽選で19名(パソコン未経験者) □申込:2月18日必着

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

## 文化の森イベントスケジュール

イベント情報  
文化の森側でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

## 生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

### ■美しき文士村?C ～森の文学館「馬込文士村新春朗読会」

馬込文士村の文士たちの足跡をたどるシリーズ講座。第4回は松尾智昭氏による、山本有三「父親」と室生犀星「白雲石」の朗読

□開催日時:1月19日(土)13:30～15:00 □会場:4階第3・4集会室 □参加費:500円□

定員:抽選で65名 □申込:1月11日必着

### ■楽しい歌舞伎講座

400年の伝統を持つ歌舞伎に、ちょっと敬遠気味のあなたを楽しい歌舞伎の世界へご案内

□開催日時:1月25日、2月8日、2月22日、3月28日(各金)10:00～12:00 □会場:4階第3・4

集会室 □定員:35名 □参加費:2,000円 □申込:1月11日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

### ■文化ボランティア養成講座

文化活動を始めたいと思っている方に、場所、やり方、きっかけ作りなどを初歩から楽しく紹介する

□開催日時:2月1・8・15日(各金)13:30～16:30 □会場:4階第2集会室□定員:抽選で15

名 □参加費:1,500円 □申込:1月21日必着

### ■作品展「心の詩」

「母」をテーマにした絵画、書などのアート作品を展示。16日(土)13:00より、オープニングセレモニーを開催

□開催日時:2月16日(土)13:00～19:00、2月17日(日)10:00～17:30 □会場:1階展示コ

ーナー □直接会場へ

### ■サトウハチローの世界 ～高弟による講演と童謡コンサート

子どもから老人まで心に安らぎと喜びを与える童謡を中心に、思い出の合唱音楽で作者のルーツに迫る

□開催日時:2月17日(日)14:00～16:30 □会場:5階多目的室 □定員:抽選で150名 □

参加費:500円 □申込:2月1日必着

### ■親子でひなまつりを楽しむ

ひな祭りの由来を知り、桜もちを作り、日本舞踊とお抹茶で季節を味わいながらいただく

□開催日時:2月24日(日)13:00～16:00 □会場:3階調理室・和室 □定員:抽選で親子

15組 □参加費:500円 □申込:2月15日必着

### ■美しき文士村?D ～森の文学館「馬込文士村の村長さん 吉田甲子太郎」

馬込文士村の文士たちの足跡をたどるシリーズ講座。第5回は、馬込文士村の村長さんと慕われた吉田甲子太郎のお孫さん吉田美恵子氏をお招きしてお話をうかがう

□開催日時:2月24日(日)13:30～15:00 □会場:4階第3・4集会室 □参加費:500円 □

定員:抽選で65名 □申込:2月15日必着

### ■ガーデニング講習会(第3回) 春の花を楽しむ、寄せ植え講習会

□開催日時:3月2日(日)10:00～12:00 □会場:3階工芸室 □参加費:1,000円 □定員:

抽選で30名(小学生以上) □申込:2月18日必着

### ■美しき文士村?E ～森の文学館「馬込文士村時代を語る」

馬込文士村の文士たちの足跡をたどるシリーズ講座。第6回は、尾崎士郎記念館オープン記念として中村一枝氏(尾崎士郎の娘)の講演

□開催日時:3月16日(日)13:30～15:00

□会場:4階第3・4集会室 □参加費:500円 □定員:抽選で65名 □申込:3月7日必着

※同時に3月14日(金)～16日(日)1階展示コーナーにて尾崎資料記念館オープン記念写真展が開催されます。

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

## ① お知らせ 運営協議会からのお知らせです

9月から『おはなしのへや』を再開しています！絵本・紙しばい・手あそびなど、読み聞かせを中心とした幼児・小学生対象のおはなし会

□開催日時:毎月第1・3木曜日15:00～15:30□会場:保育室他 □当日直接会場へ

[※チラシはこちらをご覧ください](#)





# おおた文化の森

## おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

### Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

### Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

### Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、3.「運営協議会と共催で行う事業」の3種類があります。管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

### Q4. どんな利用ができるの?

#### ●企画の実施

1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する、3.運営協議会と共催で行う

#### ●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする

#### ●貸館を利用する

うぐいすネット(コンピュータを活用した登録制の申込システム)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しく[こちら](#))



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

#### ■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

#### ■JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

#### ■JR蒲田駅(西口)

## 特集

### 文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

## 読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

### 運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。



今回は地場劇団代表の江角友子さんをご紹介します。人と人の関わりを豊かにする魅力とは。

### 運営協議会委員の志

## 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。

## ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。



## 連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

詳しい地図は[こちら](#)をクリックしてください。地図検索サイトNAVITIMEにリンクします。

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

## 文化の森イベントスケジュール



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



# おおた文化の森



◆もので栄え心で亡ぶ今の日本を救うには、良い文化を吸収し心に栄養をとり、人間性豊かな生活を送ろうではありませんか。

青柳博之

◆号の編集から参加させていただき、春・夏・秋・冬の四季を情報誌とともに巡りました。各号と共に、今年の四季は多くの思い出と思入れがあります。

奥田 和子

◆年4回発行の情報誌を楽しみにされている方が増えてきていることで、励みになります。文化の森での事業や、活動報告、そして区内で活動されている皆さんの顔を今後も取り上げていきたいと思っています。

北岡 三子

◆ご存知でしたか？ホームページで情報誌がご覧いただけます。イベント情報も随時更新中！チラシも取り出せるようになりましたので、ぜひ一度ホームページも覗きにきてください♪

小関みどり

◆気候不順の昨年を考えると、今年の冬は暖かいのか、寒いのか。いずれの状況でもそれなりに対応するしかないのは、気候に限らず人生すべてやはりそうなのだろうと、つまらないことを考えてしまう。

佐藤 佐智枝

◆光陰矢のごとし、あっという間の1年でした。1年の計は元旦にあり、謙虚な気持ちで皆さんの声に耳を傾け、更により良い誌面づくりに一路邁進したいと思います。

宗 正雄

◆木々が色づき始める季節になると一年の時の速さを感じる。来年こそ・・・明るく良き年にと祈る。

矢野マサ子

◆運営協議会は公平性、開放性、透明性の3本足で活動している。我が情報誌は、この活動のFACE(顔=表情)とFLAG(旗=主張)F&Fである。本年はF&Fをもっと豊かにもっと鮮やかに横溢する誌面を呈したい。継続性とマンネリは似て非なるものであろう。

2008年1月 (編集長)福野 幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

## 特集

文化プレーヤー活動を積極的に支援します!

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の収穫祭」を報告します。

運営協議会委員の志

### 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は古屋伸樹さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくりフェスタ」です。



今回は地場劇団代表の江角友子さんをご紹介します。人と人との関わりを豊かにする魅力とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「ガーデニングクラブ」をご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は馬込のシクラメン園をご紹介します。

第7回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



東京実業高校のマーチングバンドをご紹介します。世界大会にも出場する実力です。

## 文化の森イベントスケジュール



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 編集後記

### 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.26Web版

2008年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。